

平成19年10月分電力需給状況

需要の概要

平成19年10月の販売電力量は、23億9千3百万kWh時、前年比 108.5%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、9月から10月上旬の気温が前年に比べ高めに推移し、冷房需要が増加したことなどから、前年比 114.4%となった。

電灯等の低圧需要の10月分検針期間は、前月(9月)の検針日～当月(10月)の検針日の前日までの1か月間であるため、9月における高気温の影響の一部は、10月分に反映される。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、10月上旬の気温が前年に比べ高めに推移し、冷房需要が増加したことなどから、前年比 103.6%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、機械などが前年を上回ったことから、前年比 107.5%となった。

供給の概要

- 原子力は、定期検査の影響により、前年比 91.5%となった。
- 水力は、前年比 100.4%となった。
- 火力は、原子力の減および需要の増などにより、前年比 116.7%となった。

需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	731	114.4
	電 力	172	113.6
	計	903	114.3
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	506	103.6
	産業用電力	984	106.1
	うち大口電力	(778)	(107.5)
	計	1,490	105.2
販売電力量 計		2,393	108.5
融 通		685	111.4

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比		
		19/10月	19/9月	19/8月
紙・パルプ	165	127.6	126.2	129.2
化 学	163	99.1	102.4	96.6
鉄 鋼	85	102.7	119.6	113.6
機 械	156	108.2	107.2	102.7
そ の 他	209	103.1	105.8	102.5
合 計	778	107.5	110.3	106.9

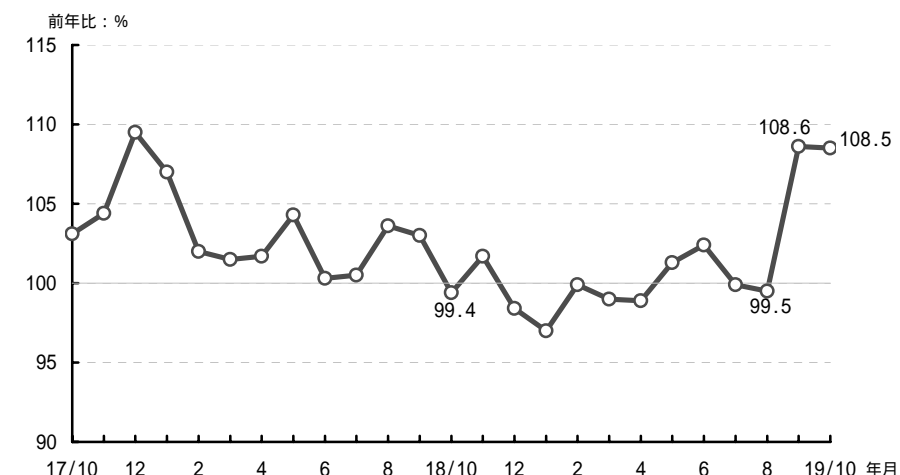
供給実績

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比	備 考
原子力	(34) 1,129	91.5	出水率 62.0% (18年10月出水率 59.3%)
水 力	(5) 179	100.4	
火 力	(60) 1,959	116.7	
新工ネ	(1) 16	149.0	
発受電計	(100) 3,283	105.9	
その他	12		
供 給 計	3,271	106.1	

注：()内は構成比

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 4県都平均気温

	19/9月				19/10月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
	実績	28.2	27.2	25.2	26.9	23.3	19.4	18.4
平年差	2.6	3.3	3.3	3.1	3.1	0.8	2.0	2.0
前年差	2.3	3.2	2.6	2.7	2.1	1.5	1.0	0.2

(参考3) 各県別の需要状況

(百万kWh時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(105.5) 540	(107.3) 389	(110.8) 852	(108.7) 612

注：()内は前年比